

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

|   |
|---|
| 食物経口負荷試験にてアドレナリン持続静脈投与を要した7症例の検討  |
| <b>1. 研究の対象および研究対象期間</b><br>2015年3月から2021年2月に当院で食物経口負荷試験（OFC）を実施した方   |
| <b>2. 研究目的・方法</b><br>アナフィラキシー対応では、アドレナリン（Ad）筋肉注射が第一選択として知られています。筋肉注射後も症状が遷延する場合にはAd持続静脈投与を要します。そのような症例は極めて稀であるため、その投与方法は現時点で確立していません。本検討では、食物経口負荷試験（OFC）で持続投与を行った症例を集積し対応方法を提案します。症例の収集・解析は昭和大学病院小児科学講座が担当します。<br><b>研究期間</b><br>医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院 病院長の研究実施許可を得てから2024年4月まで   |
| <b>3. 研究に用いる試料・情報の種類</b><br>情報：年齢・性別・負荷食品・アレルギー疾患合併・非特異的/特異的 IgE、負荷試験中の症状、必要となった治療、転帰（入院期間・有害事象の有無）<br>試料：なし  |
| <b>4. お問い合わせ先</b><br>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。<br>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。<br>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。<br>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：<br>所属：昭和大学病院（医学部小児科学講座）      研究責任者：本多 愛子<br>住所：142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8      電話番号：03-3784-8000 |